

都市再生整備計画 福井中心市街地地区

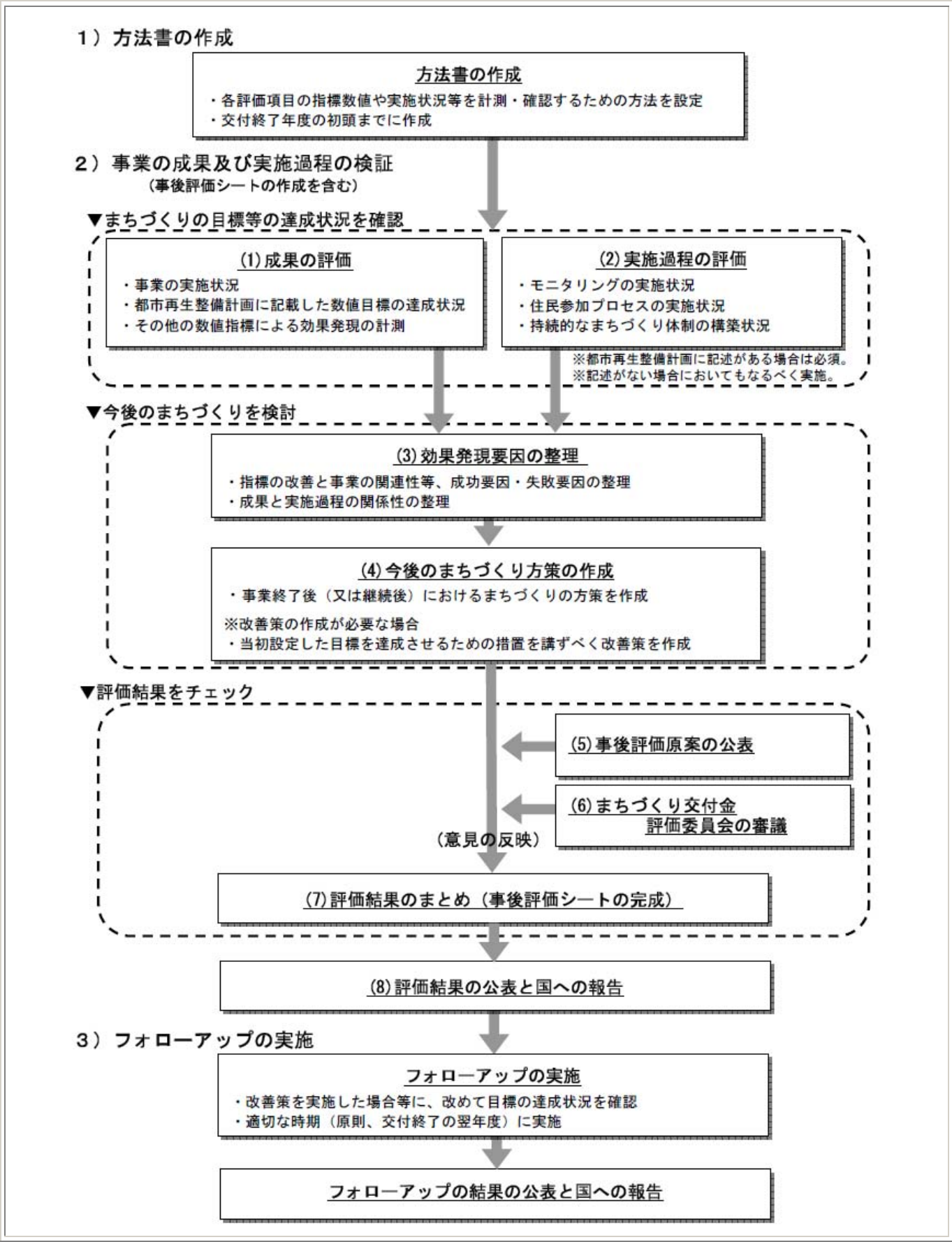
事後評価 概要

1. 事後評価制度の概要	P	1
2. 都市再生整備計画の概要	P	2
3. 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）	P	5
4. 実施過程の評価	P	9
5. 効果発現要因の整理	P	10
6. 今後のまちづくり方策の検討	P	11
7. 今後のスケジュール等	P	12

平成27年1月
福井市 都市戦略部 都市整備室

1. 事後評価制度の概要

事後評価の位置づけ	事後評価はPDCAサイクルによる事業評価制度の一環として実施されるもので、その後のまちづくりに活かすための作業。 都市再生整備計画 Plan 事業実施 Do 事後評価 Check ・まちづくりの課題 ・まちづくりの目標 ・目標を定量化する指標・数値目標 ・目標を達成するために実施する事業 ・課題は解決されたか？ ・目標は達成できたか？ ・計画どおりにできたか？ 改善策の実施 まちづくりの継続 次期計画へ反映 Act ・改善すべき点はあるか？ ・効果持続のために何をするか？ ◆まちづくりの効果を事業後も持続させる！ ◆成功体験、失敗経験を次のまちづくりの教訓に！
事後評価の目的	事業がもたらした<u>成果等を客観的に診断</u>して、<u>今後のまちづくりを適正な方向に導く</u>こと、及び<u>事業の成果を住民にわかりやすく説明</u>することを目的とする。
事後評価の内容	① まちづくりの目標の達成状況等の確認！ まちづくりの目標の達成状況、および実施過程の検証を行う。 ② 今後のまちづくり方策の検討！ まちづくりの目標の達成状況を踏まえ、事業効果の発現要因を整理し、今後のまちづくり方策を検討する。 ③ 事後評価のチェック！ 事後評価の透明性・合理性・客観性を担保するために、評価結果を市民に公表し、意見を適切に反映すると共に、学識経験者を含む第三者で構成される「評価委員会」を開催し、その審議を経る。
評価委員会の目的	① 事後評価等が適切に遂行されているかの確認と、意見を頂く。 ② 今後のまちづくり方策等について意見を頂く。



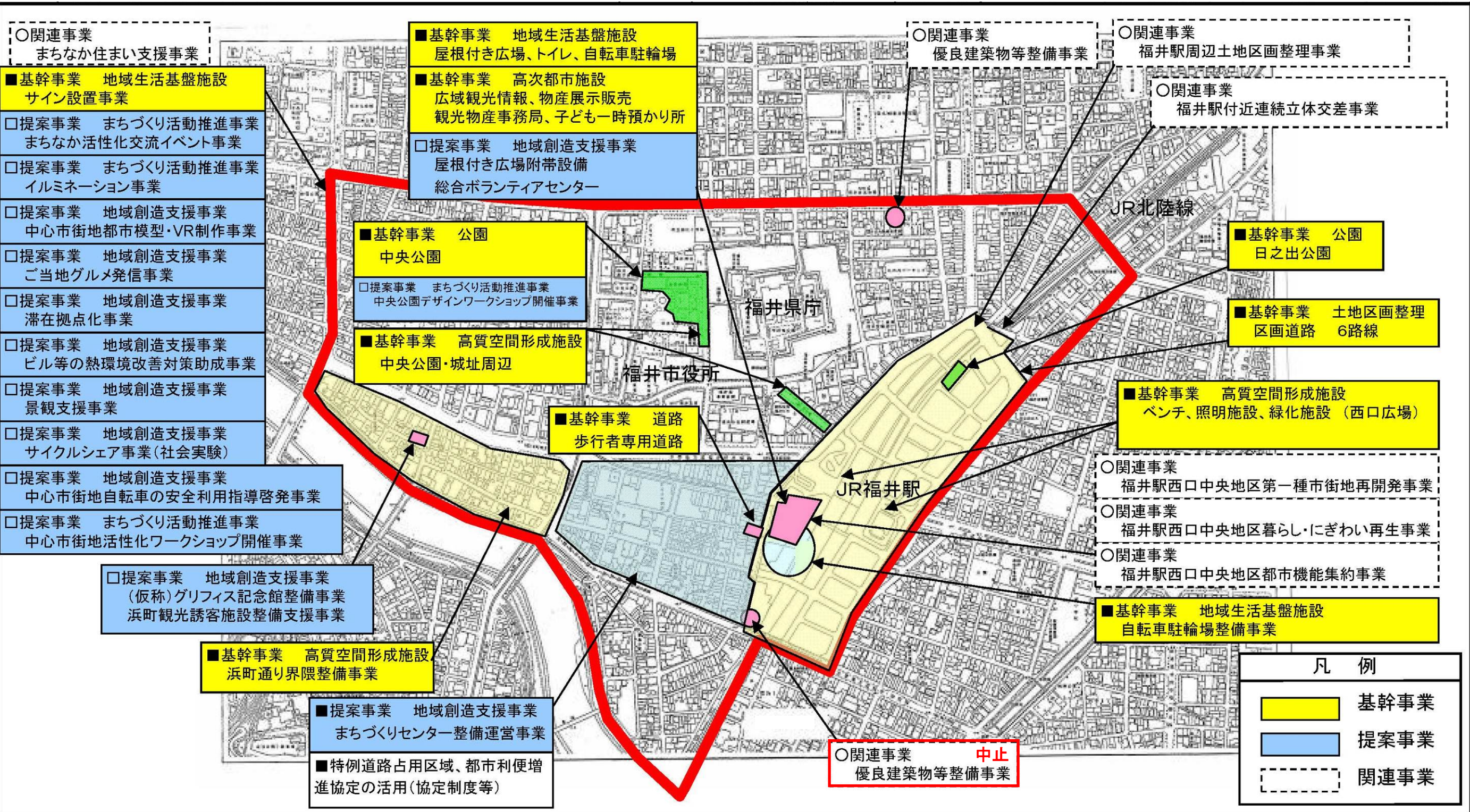
2. 都市再生整備計画の概要

大目標 『 中心市街地の賑わいの再生 』

- 目標1：JR 福井駅や市内バス等の利便性を高め「交通結節機能の強化」を図ることにより、広域ターミナル機能の充実を図る。
- 目標2：土地区画整理事業や市街地再開発事業等による「新たな都市空間の創造」を図り、商業・業務・文化・居住などの都市機能を再編することによりにぎわいを再生する。

目標を定量化する指標

- 指標1 バス乗車人員（人/日）
- 指標2 歩行者・自転車通行量（人/日）
- 指標3 路上駐輪台数（台）



交付対象事業一覧

事業種別		事業名	最終計画（第6回変更）			完成状況			
			事業期間		事業費 (百万円)	事業内容	完成	完成見込み	備考
			開始年度	終了年度					
基幹事業	道路	歩行者専用道路	平成26年度	平成26年度	70.0	道路築造	—	—	・未実施（次期計画へ）
	公園	日之出公園	平成26年度	平成26年度	11.0	施設整備(遊具、植栽)	—	—	・えちぜん鉄道高架化の遅延に伴い未実施（次期計画へ）
		中央公園	平成25年度	平成26年度	134.3	施設整備(園路、園地)	—	—	・本計画では設計までを行い、次期計画で整備
	地域生活基盤施設	自転車駐輪場整備(中央1丁目)	平成26年度	平成26年度	500.0	用地買収、施設整備	—	—	・用地交渉が整わず未実施（次期計画で別事業）
		サイン(中心市街地地区内)	平成26年度	平成26年度	6.0	サイン設置	—	—	・未実施（次期計画へ）
		サイン(駅周辺区画整理区域内)	平成22年度	平成26年度	73.4	サイン設置		●	・一部完成、残事業は平成27年度内に完成予定
		屋根付き広場(西口再開発)	平成24年度	平成26年度	2,167.2	用地買収、施設整備		●	・平成27年度に完成予定
		トイレ(西口再開発)	平成24年度	平成26年度	59.2	床購入		●	・平成27年度に完成予定
		自転車駐輪場整備(西口再開発)	平成24年度	平成26年度	111.6	床購入		●	・平成27年度に完成予定
	高質空間形成施設	福井駅周辺地区 ※対象は西口交通広場	平成25年度	平成26年度	52.1	施設整備(ベンチ、照明施設、緑化施設)		●	・平成27年度に完成予定
		浜町通り界限(市道中央1-315号他6路線)	平成22年度	平成23年度	186.7	カラー舗装、照明、ソフト地中化、景観柱化	●		—
		中央公園・城址周辺(市道1-369号線他)	平成26年度	平成26年度	284.5	植栽、カラー舗装、石畳、照明施設	—	—	・本計画では設計までを行い、次期計画で整備
	高次都市施設	広域観光情報(西口再開発)	平成26年度	平成26年度	45.0	整備		●	・平成27年度に完成予定
		物産展示販売(西口再開発)	平成24年度	平成26年度	274.6	設計、床購入		●	・平成27年度に完成予定
		観光物産事務局(西口再開発)	平成24年度	平成26年度	266.4	床購入		●	・平成27年度に完成予定
		子ども一時預かり所(西口再開発)	平成24年度	平成26年度	82.7	床購入		●	・平成27年度に完成予定
	土地区画整理事業	福井駅周辺地区	平成26年度	平成26年度	47.0	区画道路		●	・平成27年度に完成予定
提案事業	地域創造支援事業	中心市街地都市模型・VR制作事業	平成24年度	平成26年度	43.0	模型、VR制作	●		—
		ご当地グルメ発信事業	平成24年度	平成26年度	1.5	イベントの企画運営	●		—
		滞在拠点化事業	平成24年度	平成26年度	24.0	おもてなし研修会、コミック制作		●	・平成26年度内に実施予定
		屋根付き広場附帯設備整備事業	平成26年度	平成26年度	70.0	大型ビジョン		●	・平成27年度に完成予定
		総合ボランティアセンター整備事業	平成24年度	平成26年度	471.4	床購入		●	・平成27年度に完成予定
		ビル等の熱環境改善対策助成事業	平成26年度	平成26年度	2.5	補助金		●	・平成26年度内に完成予定
		まちづくりセンター整備運営事業	平成25年度	平成26年度	11.6	業務委託(企画・管理・運営)、店舗賃借、店舗改装	●		—
		景観支援事業	平成25年度	平成26年度	1.0	補助金	—	—	・未実施
		サイクルシェア事業(社会実験)	平成25年度	平成26年度	8.2	補助金	●		—
		中心市街地自転車の安全利用指導啓発事業	平成26年度	平成26年度	1.5	補助金	—	—	・未実施
		(仮称)グリフィス記念館整備事業	平成26年度	平成26年度	171.0	用地買収、施設整備		●	・平成27年度に完成予定
		浜町観光誘客施設整備支援事業	平成26年度	平成26年度	193.0	民間整備への補助	—	—	・未実施（次期計画で再提案）
	事業活用調査	事業効果分析調査	平成26年度	平成26年度	4.0	業務委託	●		—
	まちづくり活動推進事業	まちなか活性化交流イベント事業	平成22年度	平成26年度	5.0	勉強会、ワークショップ	●		—
		イルミネーション事業	平成22年度	平成26年度	34.9	社会実験、アンケート	●		—
		中心市街地活性化ワークショップ開催事業	平成26年度	平成26年度	1.0	ワークショップ		●	・平成26年度内に完成予定
		中央公園デザインワークショップ開催事業	平成25年度	平成25年度	9.0	ワークショップ	●		
関連事業		福井駅付近連続立体交差事業、福井駅周辺土地区画整理事業、優良建築物等整備事業、まちなか住まい支援事業、福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業、福井駅西口中央地区暮らしにぎわい再生事業、福井駅西口中央地区都市機能集約事業							

現時点で全てまたは一部が完成している主な事業

◆ 福井駅周辺地区サイン設置事業（基幹事業/地域生活基盤施設）

- ・福井駅周辺地区内にサインを設置



◆ 浜町通り界限（基幹事業/高質空間形成施設）

- ・浜町通り界限(中央3丁目)でソフト地中化、カラー舗装、照明などの整備を実施



◆ 中心市街地都市模型・VR制作事業（提案事業/地域創造支援事業）

- ・市民との協働によるまちづくりを進めていく上でイメージの共有化を図るツールとして、1/500 サイズの都市模型とパソコン上で3Dで体験できるVRを制作



◆ ご当地グルメ発信事業（提案事業/地域創造支援事業）

- ・福井青年会議所が主催する「ふくい秋の収穫祭」等にあわせて、ご当地グルメイベントを開催



◆ まちづくりセンター整備運営事業（提案事業/地域創造支援事業）

- ・中央1丁目の空き店舗を賃借・改装し、まちづくりセンター「ふく+」を開設
- ・きちづくり福井会社に企画・管理・運営を委託
- ・中心市街地都市模型・VR、パンフレット設置等によるまちなかの情報発信や、まちづくり団体の活動拠点として活用



◆ サイクルシェア事業（提案事業/地域創造支援事業）

- ・福井市中心部の10カ所のホテル等に貸出拠点（ポート）を設置し、そのどこでも貸出や返却ができる社会実験を平成25、26年度の2年間実施
- ・平成25年度の利用状況は総数2,440回、利用者の67%が県外客



◆ まちなか活性化交流イベント事業（提案事業/まちづくり活動推進事業）

- ・平成26年度の採択事業として、福井駅周辺商店街の魅力発信を目的に、商店街のお店の方を対象に人物写真のコンテスト及び展示会を行う「エキマエ・街の顔写真コンテスト」（運営主体：任意組合リージョン）を開催



◆ イルミネーション事業（提案事業/まちづくり活動推進事業）

- ・毎年、「ふくい冬のイルミネーション」を開催し、福井駅西口広場、アップルロード、中央公園などでイルミネーションを設置し、福井駅周辺を華やかに彩っている



3. 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）

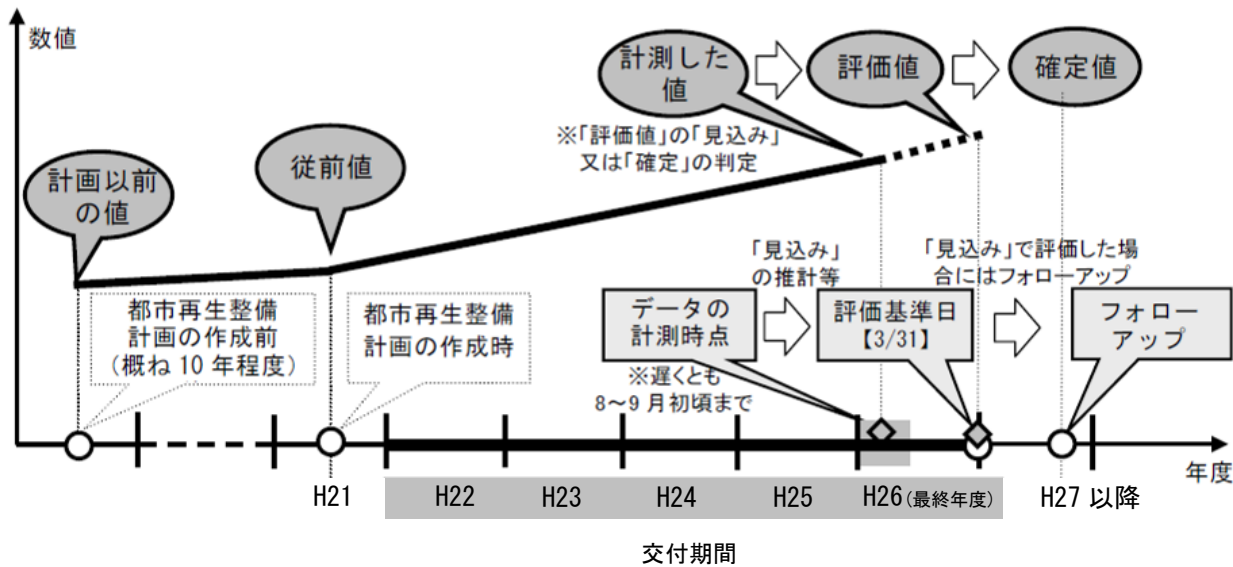
指標	単位	従前値 (基準年度)	目標値 (基準年度)	評価値 (評価基準日)			目標 達成度
指標 1 バス乗車人員	人/日	2,393 (H21)	2,393 (H26)	2,663 (H26.6)	確定		○
					見込み	●	
指標 2 歩行者・自転車通行量	人/日	43,212 (H21)	47,710 (H26)	29,548 (H26.7.27)	確定		×
					見込み	●	
指標 3 路上駐輪台数	台	456 (H21)	258 (H26)	354 (H26.9.1)	確定		△
					見込み	●	

その他の数値指標 1 中心市街地イベント のスタッフ数	人	550 (H21)		697 (H27.3.31)	確定		
					見込み	●	

■目標達成度の評価の基準

目標達成度の評価の基準	達成度
評価値が目標値を上回った場合	○
評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合	×

■評価基準日の考え方



指標 1：バス乗車人員

従前値 (H21)	目標値 (H26)	評価値 (H26.6)	目標 達成度	1 年以内の 達成見込
2,393 人/日	2,393 人/日	2,663 人/日	○	—

指標の定義

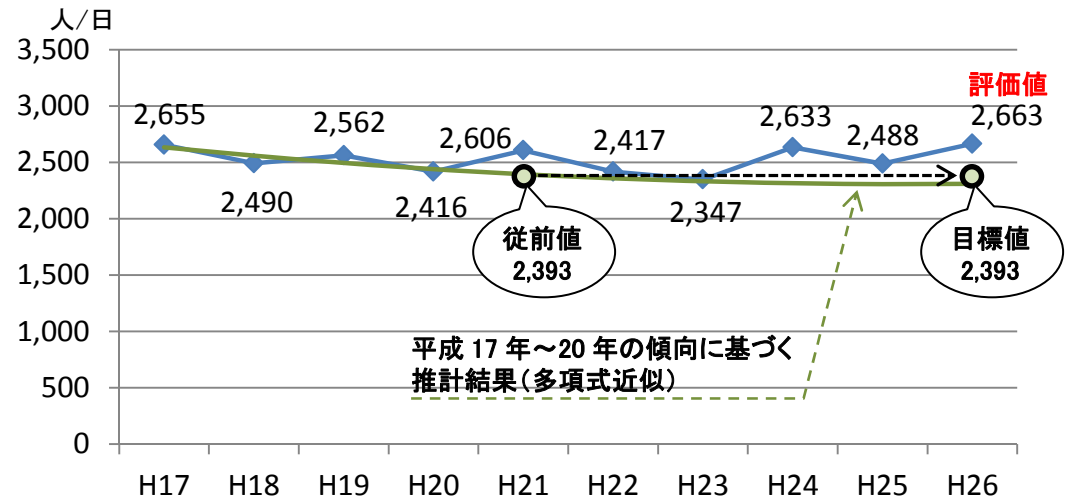
福井駅前停留所における路線バス(京福バス)の一日当たりの乗車人員
※ 京福バスが毎年 6 月に実施するバス乗車人員調査の結果

評価値の求め方

平成 26 年 6 月に実施した調査結果を評価値とする。
なお、調査時点では本指標に関連する事業がすべて完了していないため見込み値とし、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。

【目標達成度】

過去 10 年間で大きな変動はないものの、平成 23 年以降、増加傾向に転じ、平成 26 年の評価値は平成 21 年の水準を上回り、目標を達成した。



※今後見込まれるバス乗車人員の増加数(第 2 期福井市中心市街地活性化基本計画より)

事業	事業効果
福井駅西口中央地区都市機能集約事業	12 人
(仮称)福井駅西口中央地区市有施設等整備事業	86 人
福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業	70 人
(仮称)福井にぎわい交流拠点整備事業	12 人
その他の商業活性化事業などの取組による効果	23 人
交通結節機能の強化による増加	150 人
合計	353 人

指標 2：歩行者・自転車通行量

従前値 (H21)	目標値 (H26)	評価値 (H26.7.27)	目標 達成度	1年以内の 達成見込
43,212 人/日	47,710 人/日	29,548 人/日	×	無

指標の定義

中心市街地地区における休日の歩行者・自転車通行量
※福井市が毎年7月に実施する中心市街地地区内(調査対象地点 10 箇所)の歩行者・自転車通行量調査の結果(調査結果の詳細は※1 参照)

評価値の
求め方

平成26年7月に実施した調査結果を評価値とする。
なお、調査時点では本指標に関連する事業がすべて完了していないため見込み値とし、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。

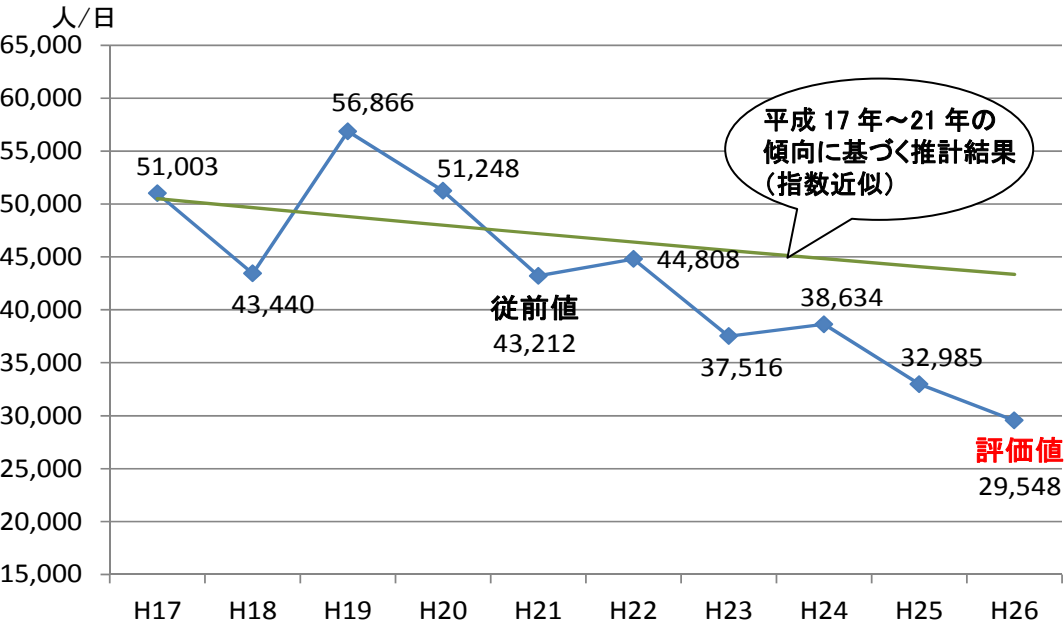
【目標達成度】

評価値は目標値に達しておらず、また、交付期間以前(平成17年～21年)から続く減少傾向を止められていない。中心市街地地区の歩いてみたくなる魅力は高まっていないといえる。
また、西口再開発の工事の影響により歩行者の回遊動線が変化したことも一因と考えられる。

【1年以内の達成見込】

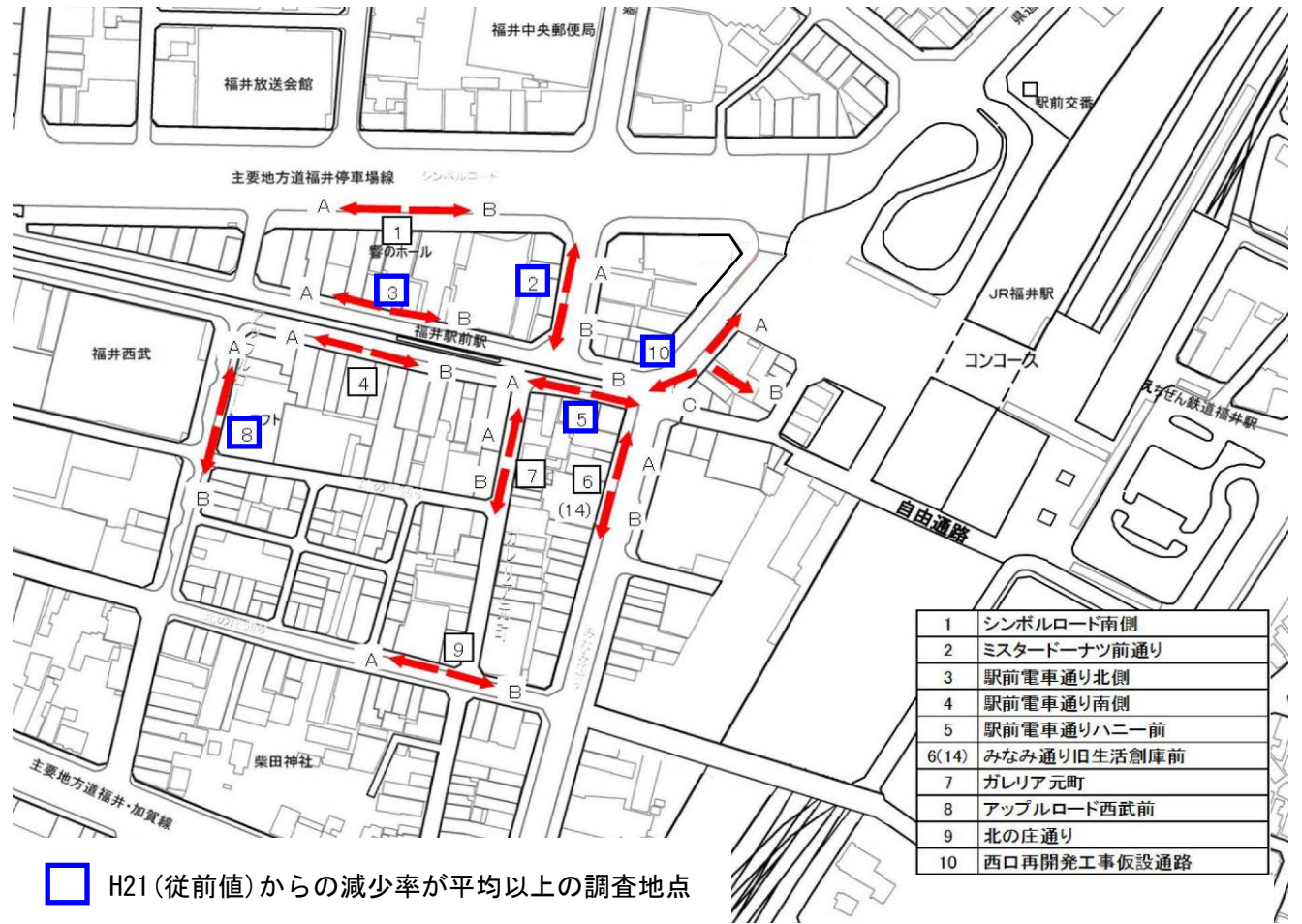
今後、中心市街地地区内で実施される各種事業の効果として見込まれる歩行者・自転車交通量の増加数は最大でも12,405人と想定される(※2 参照)。
これを評価値に加えた場合でも目標値には至らないため、1年以内の達成見込はないと判断する。
 $29,548 + 12,405 = 41,953 \text{ 人/日} < 47,710 \text{ 人/日 (目標値)}$

目標達成度
等に関する
検証



※1 平成26年7月実施の歩行者・自転車通行量調査の結果(単位:人/日)

調査地点No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
H26.7(評価値)	1,815	2,567	1,684	5,697	4,899	958	2,554	3,302	1,291	4,781	29,548
H21.7(従前値)	2,312	4,296	2,635	6,823	7,499	976	2,831	4,989	1,523	9,328	43,212
H21からの減少率	21.5%	40.2%	36.1%	16.5%	34.7%	1.8%	9.8%	33.8%	15.2%	48.7%	31.6%



※2 今後見込まれる歩行者・自転車交通量の増加数(第2期福井市中心市街地活性化基本計画より)

事業	事業効果
福井駅西口中央地区都市機能集約事業	441 人
(仮称)福井駅西口中央地区市有施設等整備事業	3,214 人
福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業	1,948 人
(仮称)福井にぎわい交流拠点整備事業	441 人
J R 福井駅南側自転車駐輪場整備事業	1,804 人
福井城址周辺整備事業(中央公園)	210 人
中心市街地チャレンジ開業支援事業	630 人
居住者増分	1,383 人
交通結節機能の強化による来街者の増加	1,079 人
L R V の導入による来街者の増加	146 人
その他の商業活性化事業などの取組による効果	1,109 人
合計	12,405 人

指標 3：路上駐輪台数

従前値 (H21)	目標値 (H26)	評価値 (H26.9.1)	目標 達成度	1年以内の 達成見込
456 台	258 台	354 台	△	無

指標の定義

福井駅西口周辺部の路上駐輪台数(調査結果の詳細は※1参照)
※福井市が毎日実施する現地調査(7時、13時、19時)の4月から8月にかけての1日・時間帯当たりの平均値

評価値の
求め方

平成26年4月から8月までの調査結果を評価値とする。
なお、調査時点では本指標に関連する事業がすべて完了していないため見込み値とし、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。

【目標達成度】

評価値は目標値に達しておらず、これは西口再開発事業が未完成であることが要因と考えられる。

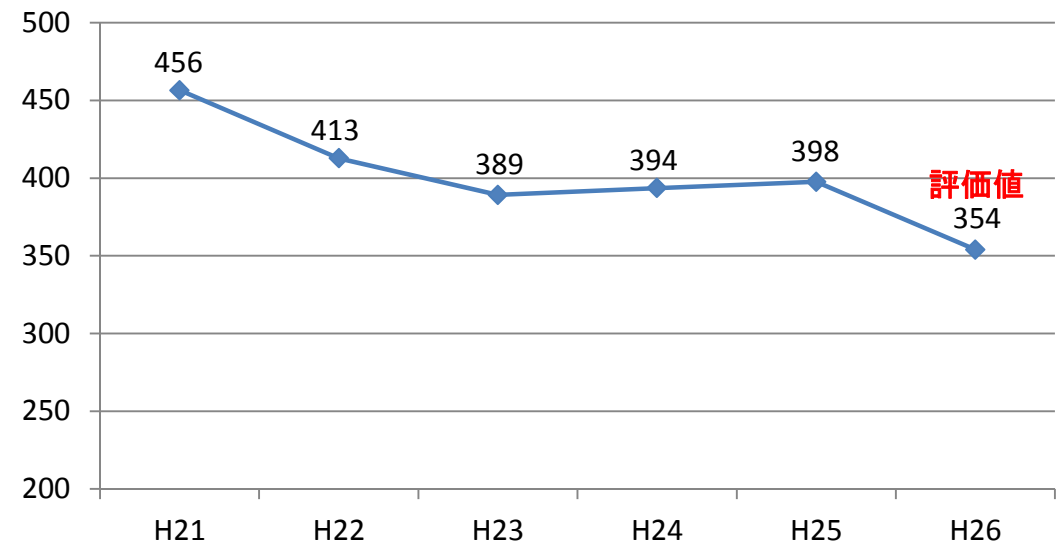
一方、従前値からは改善傾向にあるが、これは既存の駐輪場において放置自転車の整理が行われたことが要因と考えられる。

【1年以内の達成見込】

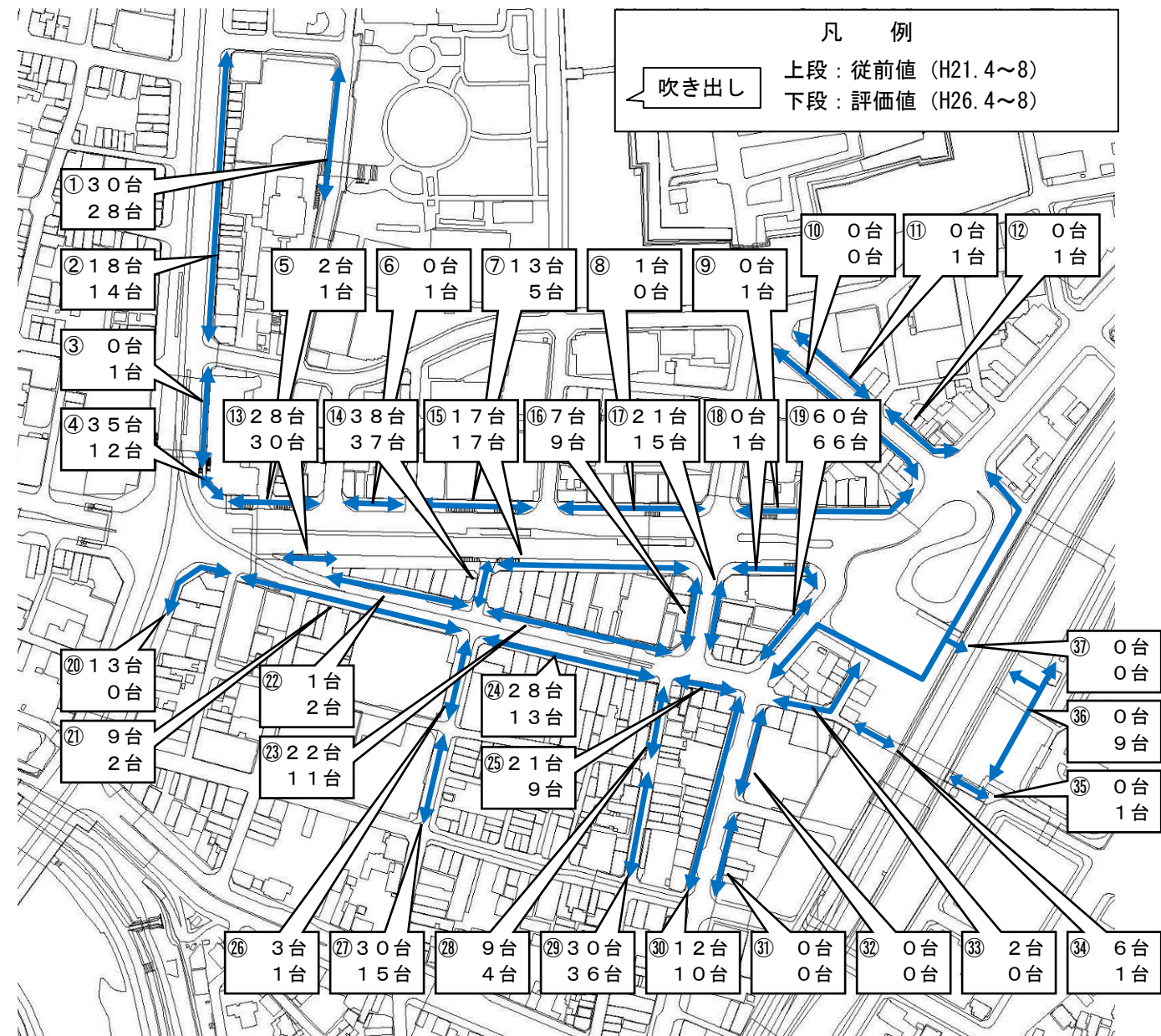
西口再開発ビル内の駐輪場(収容台数130台)は1年以内の完成が見込まれている。しかし、再開発ビル周辺に駐輪している全ての自転車が適切に誘導されると仮定した場合でも目標値には若干至らないため、1年以内の達成見込みはないと判断する。

354台－85台(調査地点⑬、⑮、⑳、㉓、㉔、㉖の合計)＝269台 > 258台(目標値)

目標達成度
等に関する
検証



※1 路上駐輪台数の現地調査の結果



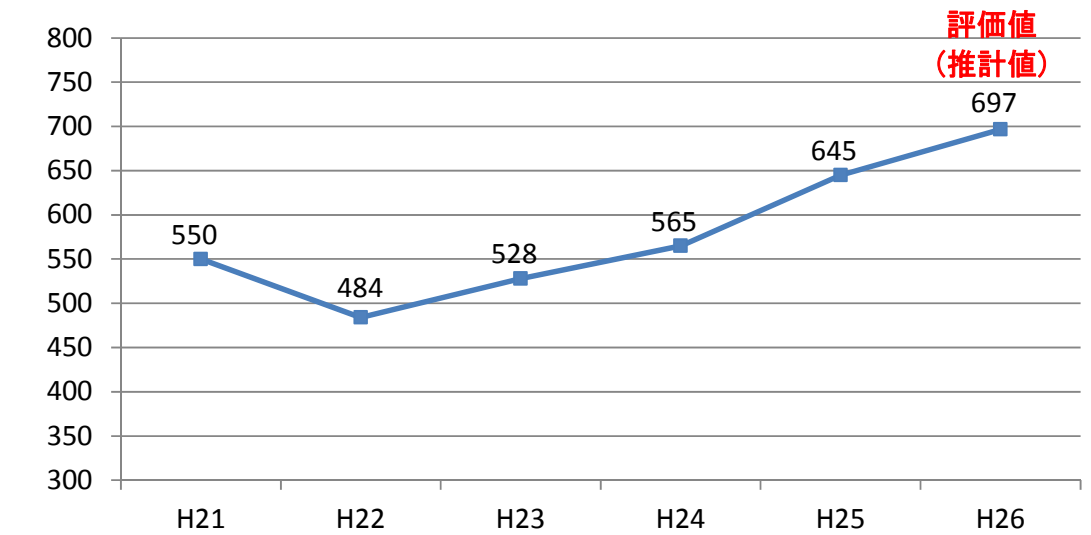
その他の数値指標 1： 中心市街地イベントのスタッフ数

従前値 (H21)	目標値 (H26)	評価値 (H27.3.31)	目標 達成度	1年以内の 達成見込
550人		697人		

指標の定義	中心市街地における各種イベントのスタッフ数
評価値の 求め方	平成22年度から平成25年度の実績から評価値基準日（平成27年3月31日）の値を推計し評価値とした。 推計値であり、また、関連する事業がすべて完了していないため、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。

【従前値と評価値の比較】

平成21年度から平成22年度にかけて減少しているものの、平成22年度以降は一貫して増加傾向にあり、評価値は従前値を上回った。



目標達成度
等に関する
検証

定量的に表現できない定性的な効果発現状況

中心市街地に対する期待感の高まりが一部感じられ、以下のような動きが見られる。

○ 民間投資の活発化

- ・事業期間内に竣工した民間事業としては以下のものがある。

◇プレミスト大手さくら通り（優良建築物等整備事業）
（平成23年2月竣工、平成25年11月に完売）

◇大原学園福井校（大手2丁目、平成23年7月竣工）



プレミスト大手さくら通り

○ 中心市街地を舞台とした新たなイベントの誕生

- ・中心市街地内では以下のような新たなイベントが誕生している。

◇フクイ夢アート（フクイ夢アート実行委員会主催）

- ・アートを通して、人と人、人とまちを結びつけ、まちの賑わいや魅力向上につなげることを目的としたプロジェクト
- ・市民団体やアーティスト、地元商店街や市内の大学、行政等がさまざまなアート企画を持ち寄り、「まちなか」という場で表現



◇まちフェス（主催 まちづくり福井株式会社）⇒詳細はP9参照

○ 浜町通り界隈におけるまちづくり機運の高揚

- ・浜町通り界隈の景観整備を契機として、住民等のまちづくり機運の高揚が見られる。

◇こみちこまち浜町推進協議会による多種多様な取り組みの展開

- ・ふくい春まつりの一環事業「こみちこまち浜町」の企画・運営
- ・浜町地区一帯に存する事業所発展のための研修・勉強会の企画・運営
- ・コミュニティデザイン（地域活性化方策）コンテストの開催
- ・足羽川の「川守」活動（足羽川河川敷の花壇での花の植栽）など

◇店舗や家屋の修景整備



4. 実施過程の評価

◆ 住民参加プロセスの実施状況

中心市街地活性化ワークショップを開催

福井市の主催によるまちづくりワークショップが開催されている。

◇第1回シリーズ「福井市中心市街地のGOODをぐ〜っと！」(全3回)

中心市街地活性化基本計画の方針である「出会う」「遊ぶ」について、まちなかの回遊性・滞在性の向上のポイントを探り、魅力発信の可能性を探る。

第1回 平成25年 8月24日「まちなかの遊び方・過ごし方」

第2回 平成25年10月19日「まちブラプランの見学とマイプランづくり」

第3回 平成26年 2月15日「まちブラマイプランコンテスト」

◇第2回シリーズ「まちなか 秋NOW! 空きなう! 商う!」(全2回)

中心市街地活性化基本計画の方針である「暮らす」「まちなかで働く」について、まちなかに存在する空き店舗や低未利用地の現状や課題を把握し、低未利用地の利活用方法の可能性を探る。

第1回 平成25年09月21日「まちなかで働く魅力編」

第2回 平成25年11月23日「活用プラン作成編」



中央公園デザインワークショップを開催

◇第1回ワークショップ「中央公園の4つの繋がりを考える」

日時：平成25年10月5日(土) 13:00-17:20

参加者：20名

目的：「北：歴史のプロムナード」「西：歓迎のプラットホーム」「南：市民活動と創造のステージ」「東：堀端のビューデッキ」について、ゾーンごとの課題、可能性を検討



◇第2回ワークショップ「中央公園のプログラムを考える」

日時：平成25年11月30日(土) 13:00-17:20

参加者：20名

目的：四季折々、中央公園で行うプログラムと、それを実行するための組織(ソフト)・施設(ハード)を検討



◆ 持続的なまちづくり体制の構築状況

まちづくり福井株式会社が都市再生整備推進法人に

まちづくり福井株式会社が平成25年4月18日に、都市再生特別措置法第73条の規定による都市再生整備推進法人※の指定を受けた。このことにより、広場や道路の整備を地権者間で公的にルール化する協定制度への参画、従来はイベント開催時に限定されていたオープンカフェの常設などが可能となった。

※都市再生整備推進法人制度とは

官民連携のまちづくりにおいて、まちづくりに関する豊富な情報・ノウハウを有し、運営体制・人材等が整っているまちづくり団体に対して公的な位置づけを与え、あわせて支援措置を講ずることにより、市町村や民間ディベロッパー等では十分に果たすことができない、まちづくりのコーディネート及びまちづくり活動の推進主体としての役割を果たすことを期待するもの

活動紹介 「まちフェス ～街なか繋がるストリート～」

- ・6月、7月、9月、10月の第1日曜日に、ガレリア元町入口から大名町交差点までの駅前電車通りを歩行者天国にしたイベントを開催
- ・音楽ステージのほか、ご当地グルメ、県産野菜、手作り雑貨などのテントが立ち並び、県・市道の歩道を使ったオープンカフェや、ベンチプロジェクトのワークショップなどを実施



NPO法人きちづくり福井が発足

まちづくりセミナーの参加者が中心となって立ち上げた市民団体である。現在はNPO法人化し、中心市街地を舞台に様々なプロジェクトを展開している。主な活動内容は以下の通りである。

- ・月1回のまちなか清掃
- ・タビスル文庫・イスワル文庫の運営
- ・ワークショップ(まちづくり系、クラフト系等)
- ・イベント(裏路地フェスティバル、ウォーキング等)
- ・まちづくりセンター「ふく+」の運営 などなど

5. 効果発現要因の整理

目標と指標の関連性		大目標：中心市街地の賑わいの再生		目標1：交通結節機能の強化による広域ターミナル機能の充実		目標2：都市機能の再編によるにぎわいの再生									
目標達成度		○：評価値が目標値を上回った場合 △：評価値が目標値に達していないが、近年の傾向より改善している場合 ×：評価値が目標値に達しておらず、近年の傾向よりも改善が見られない場合		指標1 バス乗車人員		指標2 歩行者・自転車通行量		指標3 路上駐輪台数		その他の数値指標1 中心市街地イベントのスタッフ数					
種別		事業名・箇所名		指標改善への貢献度		貢献度の考え方		目標未達成への影響度		影響度の考え方		指標改善への貢献度		貢献度の考え方	
協定制度		道路占用許可特例(都市再生整備推進法人：まちづくり福井株)		—		—		×		—		—		—	
基幹	交付対象事業	道路：歩行者専用道路		未完成		まちづくりセンター整備運営事業(都市模型・VR含む)、ご当地グルメ発信事業など、中心市街地の魅力や期待感を高める事業が指標の改善に間接的に貢献したと考え「○」		×		集客拠点として期待される西口再開発関連事業、中央公園が未完成であることが目標を達成できなかった直接的な要因と考え「××」		—		ふくい秋の収穫祭にてご当地グルメイベントを開催したご当地グルメ事業が指標の改善に直接的に貢献したと考え「◎」	
		公園：日之出公園		未完成		—		×		—		—		—	
		公園：中央公園		未完成		—		××		—		△		—	
		地域生活基盤施設：自転車駐車場整備(中央1丁目)		未完成		—		×		××		—		—	
		地域生活基盤施設：サイン(中心市街地地区内・福井駅周辺地区内)		一部実施		—		×		—		—		—	
		地域生活基盤施設：屋根付き広場・トイレ・駐輪場(西口再開発)		未完成		△		××		××		△		中心市街地のイベント空間としての魅力を高める事業や市民のまちづくり意識を高める取り組みが指標の改善に間接的に貢献したと考え「○」	
		高質空間形成施設：福井駅周辺地区(西口交通広場の施設)		未完成		△		×		—		△		—	
		高質空間形成施設：浜町通り界隈(ソフト地中化、カラー舗装等)		完成		—		△		—		△		—	
		高質空間形成施設：中央公園・城址周辺		未完成		—		×		—		△		—	
		高次都市施設：広域観光情報・物産展示販売・観光物産事務局・子ども一時預かり所(西口再開発)		未完成		△		××		—		△		イベント空間としての活用が期待される公園や西口再開発関連事業などの未完成の事業が指標の改善に貢献しなかったと考え「△」	
提案	交付対象事業	土地区画整理事業：福井駅周辺地区		未完成		—		×		—		—		—	
		地域創造支援事業：中心市街地都市模型・VR制作事業		完成		○		△		—		—		—	
		地域創造支援事業：ご当地グルメ事業		完成		○		△		—		◎		—	
		地域創造支援事業：滞在拠点化事業		一部実施		△		×		—		○		—	
		地域創造支援事業：屋根付き広場附帯設備整備事業(西口再開発)		未完成		△		××		—		△		—	
		地域創造支援事業：総合ボランティアセンター整備事業(西口再開発)		未完成		△		××		—		△		—	
		地域創造支援事業：ビル等の熱環境改善対策助成事業		一部実施		—		—		—		—		—	
		地域創造支援事業：まちづくりセンター整備運営事業		完成		○		△		—		○		—	
		地域創造支援事業：景観支援事業		未完成		—		—		—		—		—	
		地域創造支援事業：サイクルシェア事業(社会実験)		完成		○		△		—		—		—	
関連	交付対象事業	地域創造支援事業：中心市街地自転車の安全利用指導啓発事業		未完成		—		×		—		—		—	
		地域創造支援事業：(仮称)グリフィス記念館整備事業		未完成		△		×		—		△		—	
		地域創造支援事業：浜町観光誘客施設整備支援事業		未完成		△		×		—		△		—	
		まちづくり活動推進事業：まちなか活性化交流イベント事業		完成		○		△		—		○		—	
		まちづくり活動推進事業：イルミネーション事業		完成		○		△		—		○		—	
		まちづくり活動推進事業：中心市街地活性化ワークショップ開催事業		一部実施		—		—		—		○		—	
		まちづくり活動推進事業：中央公園デザインワークショップ開催事業		完成		—		—		—		○		—	
		福井駅付近連続立体交差事業		未完成		△		×		—		—		—	
		福井駅周辺土地区画整理事業		未完成		△		×		—		—		—	
		優良建築物等整備事業		完成		○		△		—		—		—	
関連	交付対象事業	まちなか住まい支援事業		完成		○		△		—		—		—	
		福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業		未完成		△		××		×		△		—	
		福井駅西口中央地区暮らしにぎわい再生事業		未完成		△		××		—		△		—	
		福井駅西口中央地区都市機能集約事業		未完成		△		××		—		△		—	

◎ 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した
 △ 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した
 ○ 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった
 — 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない

×× 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった直接的な原因となった
× 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった間接的な原因となった
△ 目標は達成していないが、指標の改善には貢献した
一 事業と指標の間には、もとも関係がないことが明確なので、評価できない

総合所見

集客や回遊の核として期待される西口再開発関連の事業が未完成であること、また、西口再開発の工事の影響により、歩行者の回遊性が阻害されていることが目標未達成の大きな要因と考えられる。

イベント開催に対する支援、イベント空間としての魅力の高まり、市民の中心市街地に対する意識啓発により、イベント内容の充実、市民のまちづくり意識の高揚が図られ、イベントのスタッフ数が増加した。

今後の活用・改善方

【改善方針】

後の活用】

6. 今後のまちづくり方策の検討

都市再生整備計画の課題		達成状況		継続・改善の基本方針	想定される事業
交通結節機能の強化	駅前広場の機能強化	達成されたこと	—	◇福井駅部における交通結節機能の強化	・西口交通広場の整備及び高質化 ・東口交通広場の高質化
		残された課題	西口再開発事業やえちぜん鉄道高架化との調整を図りながら、西口交通広場におけるバスターミナルの整備や路面電車の乗り入れ、東西交通広場における利用者の快適性や利便性を高める高質化を推進し、福井駅の交通結節機能を強化する必要がある。		
	自転車環境の充実	達成されたこと	中心市街地の回遊性に寄与するサイクルシェアの社会実験を行った結果、利用状況が把握でき、運用上の課題を整理することができた。	◇自転車の利用環境の充実、強化	・サイクルシェア事業の実施 ・自転車駐輪場の整備（西口再開発ビル内での駐輪場確保、歩道や空地・空き店舗を活用した分散型駐輪場の整備）
		残された課題	自転車利用者の駐輪時の利便性や路上駐輪の解消による歩行環境の向上を図るため、駐輪場の早期完成が望まれる。		
賑わいの創出	新たな都市機能の誘導	達成されたこと	マンションや大手専門学校の新規立地など、中心市街地に対する期待感の高まりが一部で感じられる。	◇新たな都市機能の立地誘導	・西口再開発事業及び関連事業の継続 ・民間事業者に対する立地支援（住宅やオフィス等） ・福井駅周辺土地地区画整理事業、福井駅付近連続立体交差事業の推進
		残された課題	観光、文化、情報発信、生活支援といった様々な都市機能を複合する西口再開発ビルの早期完成が望まれる。 また、都市機能の立地誘導に必要不可欠な都市基盤の整備が必要である。	◇都市機能の立地誘導を支える都市基盤の整備推進	
	交流拠点・空間の創出	達成されたこと	浜町通り界限の景観整備により、足羽川の自然や景観と一体となった歴史情緒あふれる街並みが整い、観光や交流の拠点としてのポテンシャルが高まった。	◇浜町通り界限の更なる拠点性の向上	・浜町通り界限における観光施設の整備
		残された課題	集客や回遊の核として期待される西口再開発ビルや屋根付き広場をはじめ、人々の交流の場となる公園の整備を推進し、中心市街地内の賑わいを創出する必要がある。	◇賑わいをもたらす交流拠点・空間の創出	・西口再開発事業及び関連事業の継続 ・日之出公園、中央公園の整備
	回遊性の創出	達成されたこと	浜町通り界限の景観整備により、足羽山と福井駅前を結ぶ回遊の拠点としてのポテンシャルが高まった。 福井駅前南通りや木田橋通り、お泉水通りに公共サインが整備され、わかりやすい歩行者動線の形成に寄与している。	◇歩きたくなる魅力的な歩行者空間の創出	・西口再開発ビルに至る歩行者専用道路、城址周辺、歴史回廊、（都）県庁線の整備 ・福井駅周辺土地地区画整理事業、福井駅付近連続立体交差事業の推進 ・まちなか公共サインの設置
		残された課題	拠点周辺の歩行者空間や拠点間を結ぶ動線を確保するとともに、歩きたくなる魅力的な空間や仕掛けを整え、歩行者の回遊を促す必要がある。 また、歩行者動線上には公共サインを設置し、わかりやすい歩行者動線を形成する必要がある。		
	市民活動等の活発化	達成されたこと	都市再生整備推進法人やNPO法人などが主体となったまちづくり活動や、官民協働による取り組み(イベント開催等)が以前より活発になった。 また、イベント内容の充実や市民のまちづくり意識の高まりにより、イベントスタッフ数が増加している。	◇民間支援及び官民連携体制の充実、強化	・都市再生整備推進法人への支援 ・市民団体や民間事業者への支援（まちづくりセンター運営、イベント開催等） ・市民への啓発（ワークショップ等）
		残された課題	賑わいの創出に向けて、市民や民間事業者に対する更なる支援や官民協働による取り組みの積極的展開を図る必要がある。		

7. 今後のスケジュール等

■フォローアップ計画

過去のトレンドを用いて評価値を推計している、あるいは関連する事業が全て完了していない等の理由により、評価値が「見込値」となっている指標についてフォローアップを行います。

指標	単位	従前値 (基準年度)	目標値 (基準年度)	評価値 (評価基準日)			目標 達成度	フォローアップ計画	
								予定時期	計測方法
指標 1 バス乗車人員	人/日	2,393 (H21)	2,393 (H26)	2,663 (H26. 6)	確定		○	平成 28 年 6 月	平成 28 年 6 月に実施する調査結果を計測 (従前値計測時と同様)
					見込み	●			
指標 2 歩行者・自転車通行量	人/日	43,212 (H21)	47,710 (H26)	29,548 (H26. 7. 27)	確定		×	平成 28 年 7 月	平成 28 年 7 月に実施する調査結果を計測 (従前値計測時と同様)
					見込み	●			
指標 3 路上駐輪台数	台	456 (H21)	258 (H26)	354 (H26. 9. 1)	確定		△	平成 28 年 9 月	平成 28 年 4～8 月に実施する調査結果を計測 (従前値計測時と同様)
					見込み	●			
その他の数値指標 1 中心市街地イベントのスタッフ数	人	550 (H21)		697 (H27. 3. 31)	確定			平成 29 年 4 月	平成 28 年度の実績を計測 (従前値計測時と同様)
					見込み	●			

■今後のスケジュール

